

第2回松山地域協議会会議録（概要）

日 時 平成18年1月24日（火） 13：29～16：32

会 場 松嶺公民館

出席者

1号委員	菅原 功	富樫 茂	阿部 茂	寒河江 久也	小田 和夫
	齋藤 尚	佐藤 ゆき子	今田 充代	須田 良	
2号委員	山中 俊	土田 迪子	齊藤 薫		
3号委員	佐藤 洋子	遠田 聡	木村 美津江		

松山総合支所 支所長 平向 與志雄 地域振興課長 後藤 吉史
市民福祉課長 須貝 彰 建設課長 川田 進
産業課長 新館 篤 教育振興室長 荘司 東一
地域振興課 地域振主査 阿部 みえ 主事 佐藤 伸 主事 富樫 功紀
企画調整部 企画調整課地域振興室地域振主査 遠藤 裕一

議事日程

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協 議
 - (1) 旧酒田市のコミュニティ組織の現状について
 - (2) 地域づくり課題に関する意見交換
- 4 閉 会

1 開会・・・進行（地域振興課長）が開会する。

2 あいさつ

（会長）

改めて大変重要な役目を持った協議会と痛感している。本市との一体感確保のための橋渡しの役割や地域の問題の調整役など、考えれば考えるほど重いものを感じるが皆さんと一緒に議論を進め本地域の活性化のために役立つようにしていきたい。

（支所長）

合併後の12月議会では当地域の第三セクターや眺海の森関連事業について話題になった。新年度予算も固まりつつあるが、基本的には要求予算が措置されたが、3%程度の絞り込みもあった。

当地域の発展は、市職員だけではできない。皆さんの力が必要だ。

よろしく願いしたい。

3 協議・・・会長がこれより議長を務める。

（1）旧酒田市のコミュニティ組織の現状について・・・事務局説明の後質疑

議長 日常感じていることなどを意見として話してもらいたい。

委員 松嶺地区では、現在地区を包含するコミュニティ組織的なものがないので区長会を開きコミュニティ振興会の準備会を開催したが、いつ頃までどの程度の組織を立ち上げればいいのか見えないので不安であるとの声があった。組織と規約を協議する部会と年間計画を協議する部会を設置することとしたが、部会をいつスタートするかなどは決めていない。

松嶺公民館の運営協議会からは建設的な意見はなかなか出ない。この公民館運営協議会をコミュニティ振興会の土台とするには今のままでは難しい、金銭的なものも含めかなりの力が必要と考える。新堀地区のような組織を直ちにつくるには10年も20年もかかるのではないかと。

課題として、これまで町主催で行ってきた敬老会を平成18年度からは地域主催で行うことだ。松嶺地区の中では、4つの町内会でまとまってやろうというところもあったが、それをやめていただき地区住民で実行委員会を立ち上げこれまで通り松嶺地区一本でやることにした。

コミュニティ組織は、松山地域では4公民館単位が同時期に組織を立ち上げた方がよい。事務局体制も課題となるだろう。

委員 何もかも初めてなので不安を感じている。公民館運営協議会をガラリとコミュニティに変えてよいのか。

内郷公民館では昭和57年から公設民営化され、それなりに自由に活動してきた実績がある。制度を変えるということは大変なことだと感じている。当地区では、3年前に内郷振興会という組織をつくっており住民の意見を吸い上げる仕組みはある。

委員 行政からは酒田市の考え方の説明は聞いたが、誰がどう動けばよいのか指示がなかった。そこは行政で方針を示すべきだ。

これまでは、コミュニティ組織が本当に必要なのかということについては、きっちり理解されていない。地域の理解が無ければ会は盛り上がらない。それには情報の開示が必要だ。情報をつくる事も必要だがこれは支所で相当バックアップする必要がある。コミュニティ振興会づくりを進めるならば市としての施策をはっきり示すべきではないか。目標とする時期やなぜ組織が必要なのかということだ。将来は、こんな組織があればと言うような指針があるべきではないか。

現在公民館事業を各種やっているが、なるべく地域住民を巻き込んだ形で行いたいと考えている。新堀地区の例を見ると公民館が行政部分を取り込むのではなく2枚看板で取り組んでいるのだ。行政サイドでスタイルの是非を示すべき。行政の延長線上と考える。

酒田市では、東禅寺を除き小学校区毎のようだが、松山地域は地域のまとまりを考えて公民館地域がよい。

委員 1月12日に公民館運営協議会で話し合った。今後は、研修会を開いたり市内のコミュニティ振興会組織を視察するなどして検討することにした。現在ある市内の組織も中身はバラバラのようだ。地区毎に個性があっても良いと思っている。

委員 これまでの松山町の公民館のあり方は、自主的に活動し、住民にも応援してもらうなどよくやってきたと思っている。

コミュニティ振興会の資料でどこがポイントとなるのか具体的に示して頂くとわかりやすいのではないか。

委員 鶴岡市のコミュニティ組織と酒田市のコミュニティ組織を比較すると、学習の部分、人を育てるという視点から鶴岡方式の方が充実していると感じていた。これからコミュニティ振興会を立ち上げるとしたらその核となるものをどう捉えるかが大切だ。松山地域の良さを出すためによく考えるべき。八幡、平田、松山で違った組織になっても良いのではないか。

事務局 コミュニティ組織の最小単位としては自治会があるが、共通課題を考えるためにはある程度大きなまとまりであった方がよいということだ。ただ、市長も必ずつくりなさいとは言えないが、つくってほしいという考えを述べているものだ。

松山のまとまり等を考えると公民館単位に落ち着くのではないか。

休憩(15:21~15:30)

(2) 地域づくりの課題に対する意見交換

委員 町民運動会の開催(運営)は、どうなるのか。

事務局 これまで同様だ。

委員 運動会の名称はどのようになるのか。

事務局 松山町とはならない。地区名でよいのではないか。

委員 合併してから何が変わったかという、広報活動がある。市広報にも月1回の松山版があるが、合併前は月3回あり細かな情報があった。広報の回数で行政が遠くなった感じがする。

ほしいのは情報だ。足元の情報が少なくなった。小さなものでも人によっては大切な情報もある。松山地域版を支所独自で増やせないのか。

事務局 月1回4ページで松山版を共通理解の中を出している。増やすとなると担当者の問題、予算の問題が出てくる。増やしますと今の段階では言えない。

委員 民生委員協議会の定例会の際、広報で戸籍の窓の復活を望む声があった。活用している人がいる。

事務局 住民が楽しみにしていた内容が掲載されなくなったが、内容についてはこれからも担当課と協議していきたい。

委員 情報の件では、防災無線がそのまま残って良かったと思っている。学校行事への地域住民の参加を呼びかけるのに使うなどもっと利活用しても良いのではないか。そうした事例も他ではある。ハーバーラジオはもっと活用できないのか。

事務局 防災無線については、うるさいので余計なものはいらないという意見もあるので取扱いが難しい面もある。自治体によって対応が違うのも事実だ。

事務局 ハーバーラジオについては、聴取可能エリアの問題もあり難しい面もある。酒田市のホームページには支所の項目もあるので意見を頂きたい。

委員 道路の通行止等の情報を防災無線で流せば渋滞に巻き込まれなくてすむのではないか。

事務局 平日の職員が支所にいる時間帯の事故だと対応できるのだが、土日や深夜となると他機関等との連携が難しい面がある。

委員 敬老会を行政主催でやらないと決めたのは合併協議の中でどのような経過があったのか。町でやっていたときの体制はどうだったのか。今後は職員は手伝ってくれないのか。

事務局 一市三町の中で行政が直接主催していたのは松山町だけだった。これからは、他市町で行っているように住民主体でやるべきと判断したものだ。また、自治会単位での開催だと余りにも範囲が小さいと考える、公民館単位で開催してほしいとお願いしている。町主催の時は、社会福祉協議会、民青児童委員協議会、婦人会、公民館の協力を得てやってきた。今年は、市職員が手伝いますよとは言えないが、相談しながらこの過渡期を乗り切るようにはしていきたい。

委員 内郷地区も一本での開催になると思うが、出席者の移動が問題となるのでバス運行等の配慮はお願いしたい。

委員 山寺地区では自主運営するつもりだ。ただ、すべて携わらないのは困る。最初は事務局ぐらいには入ってもらいたい。なにもこれまでの形に拘る必要はないと考えているが。

議長 時間となったが、コミュニティ振興組織など課題がまだあるようだ2月にも開催したい。本日は閉会する。